

後援：



千葉市

共催：NPO法人ADDs



Bring up

特定非営利活動法人EPO ぶりんぐあっぷ主催

ABAちば地域研修会

～応用行動分析に基づく取り組みを
明日実感できるための具体的方法とは～

日時
会場

2020年

2月2日



10:00-15:00

9:30分受付開始

ぶりんぐあっぷ ちば子ども発達センター
千葉市療育センター ふれあいの家 会議室
〒261-0003 千葉市美浜区高浜3-3-1 ☎043-301-4570

対象

療育・教育関係者
*定員になり次第締切

費用

2000円

内容

応用行動分析に基づく早期療育支援実践報告
地域の支援者の皆様へ、明日から使える問題行動へのアプローチ実践体験会
参加者のお困りの事例を取り上げてグループワーク

10:00～11:00

エビデンスに基づいて保護者とともに取り組んできた
早期療育『べあすく』の展開 千葉地域実践報告

ぶりんぐあっぷちば子ども発達センター 施設長 小山恵美子
言語聴覚士 天野 茜



11:10～15:00（昼休憩60分）※

明日から使える問題行動へのアプローチ実践体験ワークショップ

講師：熊 仁美 氏（心理学博士/NPO法人ADDs共同代表）



※12:00～13:00

昼休憩の間、ご希望の方には施設内見学をご案内いたします。
昼食をご希望の方は、申し込みフォームにて賜ります。



エビデンスに基づいて保護者とともに行う 発達障害児の早期療育モデル実装プロジェクト

28年度科学技術振興機構研究開発成果実装支援プログラムに採択された
応用行動分析（Applied Behavior Analysis; ABA）を軸とした親子エン
パワメント型早期療育モデルを全国の地域に実装するプロジェクトです。

療育支援システムAI-PAC

NPO法人ADDSと慶應義塾大学が共同開発したエビデンスに基づく包括的な早期療育支援システムです。

- ▶学習基盤・コミュニケーション・視覚/運動・社会スキル・アカデミックの5領域600を超える発達課題
- ▶子どもに合わせたターゲット設定
- ▶タブレットでの記録とデータ化
- ▶記録用紙作成や支援効果の蓄積、教材やモデル動画閲覧

親子エンパワメント型療育モデル 「べあすく」



AI-PACに基づくお子さんへの通所型個別療育を軸に、保護者が同時並行で支援知識や実践スキルを学び、お子さんのよき支援者となることをめざすプログラムです。療育体験やe-learningを活用して支援を行います。

「べあすく」における
保護者の療育体験



実装
支援

これまでの成果

親子エンパワメント型療育「べあすく」を約300家庭に提供した結果、子どもの発達指数や言語、コミュニケーション、保護者の療育スキルや知識にポジティブな変化が示されました。



全国の療育機関へ

横浜市南部地域療育センター、ぶりんぐあっぷちば子ども発達センター、児童発達支援センターゆーかりの森(兵庫)、徳島県教育委員会をはじめ、関東、香川、熊本など全国の公/民の療育機関へ実装を行ってきました。



講師プロフィール

熊 仁美 氏 NPO法人ADDS共同代表/心理学博士

略歴: NPO法人ADDS共同代表 慶應義塾大学社会学研究科訪問研究員・博士(心理学) 慶應義塾大学大学院心理学専攻博士課程修了。保護者が家庭で実践できる療育プログラムの研究開発と効果検証を進め、28年度科学技術振興機構研究開発成果実装支援プログラムに最年少で採択。「エビデンスに基づいて保護者とともに取り組む発達障害児の早期療育モデル」の責任者として全国で療育モデルの実装に取り組む。

専門領域: 応用行動分析、前言語コミュニケーション、発達心理学に基づく発達障害児の早期療育、ペアレントトレーニング、療育と育児ストレスとの関連、人材育成プログラム開発など

お申込み締切 2020年1月23日(木) ※定員に達し次第締切

お申し込みは以下のURLにアクセスいただくかQRコードを読み込んでフォームにアクセスしてください。

<https://forms.gle/kKGWNFU8MhRED82G7>

